



住みよい佐野市をめざして

小暮ひろし市議会報告 (第33号)

市議会議員 小暮 博志
 佐野市馬門町1597
 TEL・FAX (23) 8263
 携 帯 090-2679-3021
<http://www.kogure-hiroshi.com>

第33号の 主な記事

- ・平成29年 第5回定例議会 (12月1日～15日)
- ・平成30年 第1回定例議会 (2月23日～3月16日)
- ・国民健康保険運営協議会視察(新潟県燕市)

●平成29年 第5回定例議会 (12月1日～15日)

平成29年 第5回定例議会では、以下の内容で行われ、議案は全て可決。 主な要点を次に述べます。

- (1) 報告・条例・補正予算 関係 25件 (2) 一般質問 16人

(1) 報告・条例・補正予算 関係 25件

- ・佐野市が目指す、今後3期12年間の将来像やそれを実現するための行政経営方針等を示した、第2次佐野市総合計画が議会に提案され、賛成多数で可決されました。7つの基本目標と、38の施策を定め、2年おきに見直ししながら推進予定。目標を次に示します。(詳細は、佐野市ホームページ内で検索可。)

基本目標 1 魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり	(施策例：出流原PA周辺開発の推進)
基本目標 2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり	(施策例：スポーツツーリズムの推進)
基本目標 3 健やかで元気に暮らせるまちづくり	(施策例：心と体の健康づくりの推進)
基本目標 4 豊かな心を育み、学び合うまちづくり	(施策例：特色ある教育と心の教育の推進)
基本目標 5 快適により安全で安心して暮らせるまちづくり	(施策例：消防・防災体制の充実)
基本目標 6 美しい自然、環境と調和するまちづくり	(施策例：良好な生活環境の保全と創出)
基本目標 7 市民参加による自立したまちづくり	(施策例：市民と協働した地域づくりの推進)

- ・今議会で、14の指定管理者に施設の管理を依頼しました。これは、全指定管理者数(23)の約61%にあたり、各依頼事業と年間管理費を次に示す。指定管理は、市民サービス向上と経費節減等を図る施設で、現在の指定管理施設は57施設あり、年間の管理費は6億1千万円です。(管理費ゼロの施設は6施設。)

佐野市田之入老人福祉センター (38百万円)	佐野市茂呂山老人福祉センター (56百万円)
佐野市田沼老人福祉センター (12百万円)	野遠原の里老人福祉センター (14百万円)
佐野市葛生あくど福祉センター及び工房 (14百万円)	佐野市大橋シルバーワークプラザ及び工房 (3百万円)
佐野市田沼シルバーワークプラザ (1百万円)	佐野市蓬山ログビレッジ (4百万円)
佐野市根古屋森林公園 (11百万円)	佐野市作原野外活動施設 (5百万円)
佐野文化施設 (107百万円)	佐野市観光物産会館及びみかもやま物産会館 (2百万円)
佐野市立図書館等 (144百万円)	佐野市都市バスターミナル (0円)

(3) 一般質問 16人

一般質問は、16人の議員が47件の質問を3日間で実施。内容や状況は佐野市ホームページで見られます。

●国民健康保険運営協議会視察(新潟県燕市) (11月13日～14日)

県外優良保険者視察として、人口約8万1千人の燕市に、運営協議会委員8名と職員6人で実施しました。佐野市と比較し、私自身、勉強になった点を示します。(私は、運営協議会会長の立場で参加しました。)



- ①現年度の収納率が94.8%(93.2%：カッコ内は佐野市)と高く、口座振替率も71.5%(35.5%)と高い。【方策】納税通知書に、ハガキの口座依頼書を同封。
- ②特定検診の受診率が52.8%(22.5%)と高い。【方策】集団検診を無料(800円)にし、人間ドックの個人負担を1/2(佐野市1/3)と高く設定。
- ③慢性腎臓病進行予防事業として、データベースから自宅訪問指導を実施。
- ④日々の健康行動や健康づくり関連事業にポイントを与え、景品、表彰授与。
- ⑤保険税に資産割を無くし、所得割、均等割平等割の3方式で課税。

●平成30年 第1回定例議会（2月23日～3月16日）

今回の第1回定例議会では、(1)から(2)の議案が提出され、全て可決されました。

主な要点を次に述べます。

- (1) 条例の改正・報告・補正予算 等 53件 (2) 平成30年度一般・特別会計予算 関係 10件
 (3) 一般質問 15人

(1) 条例の改正・報告・補正予算 等 53件

- ・佐野市民病院及び介護老人保健施設あそヘルホスは、4月より一般社団法人佐野メディカルセンターが運営する民間の医療施設として、新たなスタートをいたします。常勤医師や看護師等医療スタッフの多くが引き継いで勤務するとともに、病床数や診療科目等の病院機能につきましても、当面の間はこれまでと同様とすることになっております。（名称も「市民病院」、「あそヘルホス」となっており、変更なし。）

《平成30年度以降の市の支援》	① 移行期運営補助金	15億円	(H30～H34：5年間で計15億円)
	② 施設整備費補助金	30億円	(H33～H42：3億円×10年間)
	③ 救急医療等維持交付金	2千万円	(H30～：毎年2千万円)

また、病院等資産（土地、建物、医療機器等）については、3年間は無償貸付とし、その後、無償譲渡して病院等の安定運営のために活用されることとなります。

【小暮の概算】これまで、市民病院等については、年間約5億円の経費が必要とし、早急な建替えが必要なB棟及びC棟の工事費約60億円が見込まれており、民間譲渡により、市民の負担は軽減されます。

(2) 平成30年度一般・特別会計予算 関係 10件

平成30年度 一般・特別会計予算歳出状況 (△:マイナス)

	30年予算	対前年差額
一般会計 歳出(百万円)	45,970	△ 620
人件費	9,429	△ 43
物件費	5,765	103
維持補修費	906	△ 78
扶助費	10,973	662
補助費等(負担・交付金)	2,515	△ 208
普通建設事業費	3,890	△ 503
公債費	4,403	174
その他	8,088	△ 728
特別会計 歳出(百万円)	29,092	△ 3,665
国民健康保険(事業)	12,319	△ 3,300
国民健康保険(直営)	284	3
公共下水道	3,695	△ 20
農業集落排水	179	△ 4
自家用有償バス	165	5
介護保険(保険)	10,962	13
介護保険(介護)	0	△ 51
後期高齢者	1,359	115
西浦・黒袴第2工区産業団地	128	△ 427
合計(百万円)	75,062	△ 4,285
企業会計 支出(百万円)	3,628	△ 1,177
水道事業	3,628	△ 264
病院事業	0	△ 913

平成30年度の一般・特別、企業会計予算は、左表の如くです。一般会計は、前年より6.2億円減(○1.3%)となり、支出の内容をみると、扶助費の増、普通建設事業費の減が大きい。

これは、こどもクラブ整備費約3億円や民間保育園給付費等約4億円の増、インランドポート整備費約5.3億円の減による。

一般会計の中で、約5億円をこす主な事業は、

- ・生活保護扶養費給付事業費 19.6 億円
- ・児童手当支給事業費 18.2 億円
- ・介護給付事業費 16.9 億円
- ・特定保育施設等給付事業 16.2 億円
- ・田沼西地区小中一貫校整備事業費 15.8 億円(総額:40.9 億円)
- ・中小企業融資預託事業費 12.2 億円
- ・みかもグリーンセンターごみ焼却業務委託 7.9 億円
- ・緊急特別支援資金融資預託事業費 5.6 億円
- ・市民病院運営支援事業 5.0 億円

また、特別会計の国民健康保険事業は平成30年度から県が主体となり、財政の健全化をすすめる。国の補助金も増え、保険税は95.6%の人が、平均で約9,100円ほど下がる見込み。

以上の、平成30年度予算は、予算特別委員会で4日間、24人の議員質疑の後、賛成多数で承認。

予算特別委員会として、7項目からなる予算審査要望書をまとめ、市長に提出しました。

(要望書) ①定住促進の推進 ②市有施設の適正配置の推進 ③子育て支援の推進 ④観光立市の推進 ⑤産業立市の推進 ⑥都市基盤施設の寿命化の推進 ⑦国保健康保険事業の健全化 (詳細は、小暮ひろしホームページ)

(3) 一般質問 15人

一般質問では、15人の議員が38件の質問を3日間で実施。内容や状況は佐野市ホームページで見られます。その中で、学校トイレの洋式化については、できる限り対応していきたいとの答弁あり。



●ゴミの収集に参加

- 高萩陸橋付近
 - ・12月24日(16袋)
 - ・2月25日(18袋)
- 佐野中央LC実施